TOPGEAR®

2011/11 Ver.1.00

シフトポジションインジケーター

SHIFT POSITION INDICATOR【SPI-110 Ninja250R】

【'08～Ninja 250R (JBK-EX250K)】

ノーマルギア比での
シフトポジションデータ登録済み

取扱説明書

セット内容

●SPI-110本体(5Pカプラー仕様) ●専用ハーネス ●専用メーターステー
●エレクトロタップ赤x1 ●両面テープ(薄、厚 x各1) ●タイラップ(142mm)x5本

注意事項

●本説明書はNinja 250R ('08～)に対応する内容で記載致しております。
車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照いただき作業を行ってください。
●SPIメーター本体の裏面にはスイッチがあります。
付属の両面テープを貼り付けて、水が浸入しないように注意してください。
●取り付けは説明書に沿って正しく行ってください。説明書記載以外の方法での
取り付けは火災・事故などの原因になる事があります。ご注意ください。
●本製品の使用により生じた事故・故障などいかなる損害においても当社は
一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
●製品に不具合が発生し、修理や返品の際に生じた工賃・送料などいかなる費用
について、当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

取り付け方法

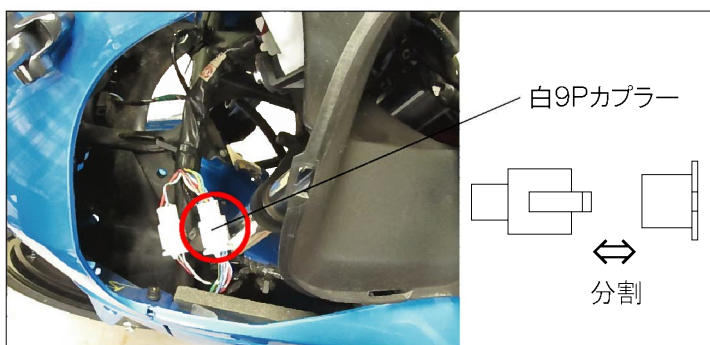
※本説明書では製品の取り付けのみ解説いたします。
車両メーカー発行のサービスマニュアルを参考に作業してください。

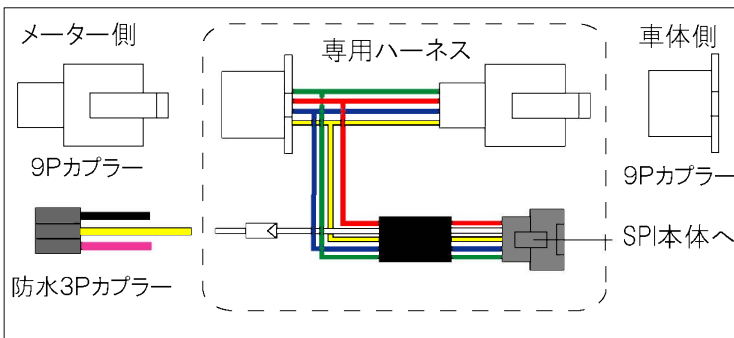
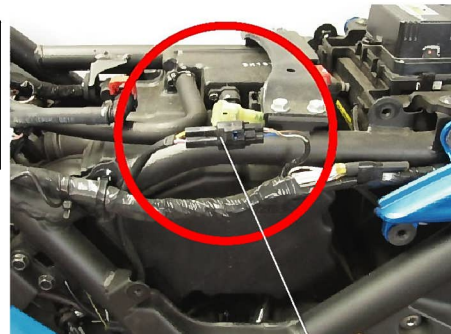
【取り付け作業の準備】

※作業の際は必ずキーOFFで行ってください。

①スクリーン、メーターパネル、左アンダーカウル、左サイドカバー
を外します。ガソリンタンクも外すと作業効率が良くなります。

※〇で示したボルトやプラリベットを外してカバー類を外します。

②メーターから出ている白9Pカプラーを分割します。

【専用ハーネスの取り付け】

①メーター側と車体側ハーネスの間に専用ハーネスを
割り込ませます。

②専用ハーネスの白線を左側サイドカバー内の防水3Pカプラー
まで通し、黄色線にエレクトロタップを使って割り込ませます。

【SPI本体の取り付け】

①下の画像を参考に付属品のメーターステーを両面テープで
メーターケース上部に貼ります。
②SPI本体をメーターステーに両面テープを使って貼り付けます。

※ ハンドルを左右に切った際、専用ハーネスやSPI本体の配線に
無理な力が加わないよう取り回し、配線はカウルステーなどに
タイラップで固定してください。
※ 後ほどシフトアップインジケーターの設定を行いますので
SPI本体は仮付けにしてください。

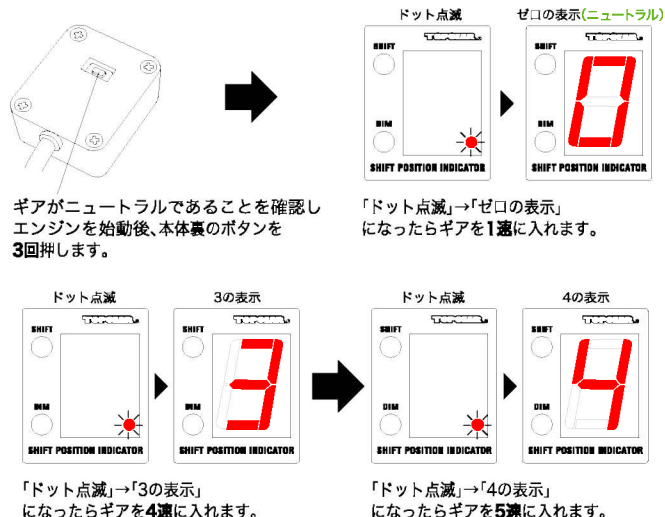
③SPI本体のコードをメーターカバーの隙間から専用ハーネス
まで通し、専用ハーネスの5Pカプラーと接続します。

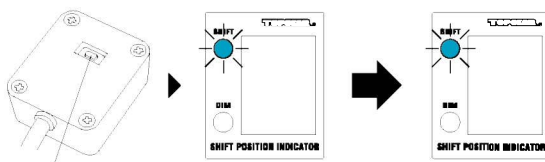
④スクリーン、メーターパネル、左アンダーカウル、左サイドカバー
など外したパーツを元に戻します。

■各ギアポジションの登録及びシフトアップインジケーター登録、
及びエラー表示の詳細は裏面にて解説しております。
■ノーマルスプロケ丁数の場合、ギアポジション登録は不要です。

ギアポジションの設定

本製品は'08～Ninja250Rのノーマルミッション及びノーマルスプロケット、本説明書の指示通りに取り付けられた場合に対するギアポジションの登録がされているので基本的にギアポジションの設定は不要ですが、ギアポジションが正しく表示されない場合、以下の方法でギアポジションの設定（登録）を行ってください。
※スプロケットを変更している場合は必ず設定を行ってください。

※ギアポジションの設定はセンタースタンド／レーシングスタンドをかけ、十分に安全を確認してから2000～3000rpmの安定した回転数で行ってください。
※実際の走行で設定される場合も十分注意して行ってください。
※「ドット点滅」から「数字の表示」に切り替わるのに若干時間がかかります。

シフトアップインジケーターの設定

実際の走行時において、設定値より回転が上ると青色LEDが点灯します。

ギアがニュートラルであることを確認しエンジンを始動後、青色LEDが点滅するまで本体裏のボタンを長押しします。

設定したい回転数まで上げて戻すと青色LEDが高速点滅し、セット完了です。
※設定の変更は何回でも可能です。

ギアがニュートラルであることを確認しエンジンを始動後、本体裏のボタンを**3**回押します。

ドット点滅　ゼロの表示（ニュートラル）

「ドット点滅」→「ゼロの表示」
になったらギアを**1速**に入れます。

ドット点滅　1の表示　ドット点滅　2の表示

「ドット点滅」→「1の表示」
になったらギアを**2速**に入れます。

「ドット点滅」→「2の表示」
になったらギアを**3速**に入れます。

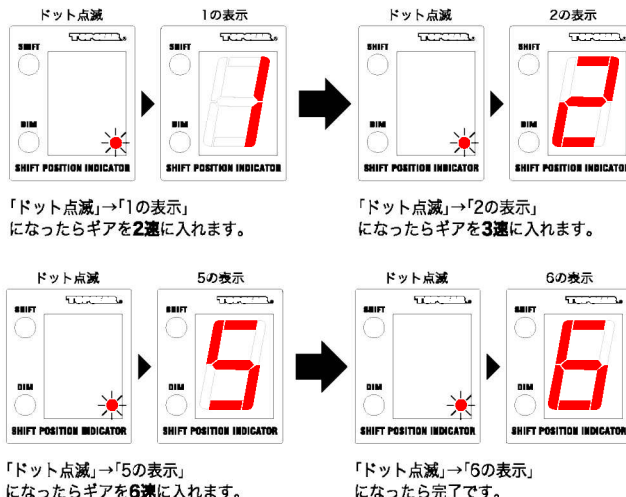
ドット点滅　3の表示　ドット点滅　4の表示

「ドット点滅」→「3の表示」
になったらギアを**4速**に入れます。

「ドット点滅」→「4の表示」
になったらギアを**5速**に入れます。

ドット点滅　5の表示　ドット点滅　6の表示

「ドット点滅」→「5の表示」
になったらギアを**6速**に入れます。

「ドット点滅」→「6の表示」
になったら完了です。

実走行によるギアポジションの設定方法の注意点

※　ギアポジション設定にはスピード信号と回転信号の両方がSPI本体に入力される必要があります。
※　スピード（速度）信号のセンサーがあるホイールが回転しない状態では設定できません。
（Ninja250Rの場合リアホイール側に速度を検知するセンサーがございます）
また、断続的にクラッチを切った状態でも設定できませんのでご注意ください。

・ 設定は必ず実走行にて行ってください。
・ 走行の際は、周囲の道路状況を確認して安全に十分留意して行ってください。
・ 各ギア共に安定したエンジン回転数で走行し登録してください。
エンジンのノッキングなどギクシャクした走行状況下では正しい登録ができません。
・ 以後の設定操作は、【ギアポジションの設定】をご覧いただきまして設定を行ってください。

◆実走行以外での設定時の注意点◆

・ レーシングスタンド（メンテナンススタンド）を使用して、リアタイヤを回転させて設定することができます。
※　シフトチェンジ以外は、クラッチはつながった状態で行ってください。
※　必ずリアホイールを回転（空転）させてください。
・ 以後の設定操作は、【ギアポジションの設定】をご覧いただきまして設定を行ってください。

【万一、以下の表示が出たら】
SPI本体と専用ハーネスが接続されている5Pカプラーの配線のピン抜けが考えられますのでご確認ください。

Sの表示

スピード信号が取れていない場合、S表示点滅＋ドット点滅が表示されます。
SPIの白線と専用ハーネスの白線の接続を確認してください。

Rの表示

エンジン回転信号が取れていない場合、
R表示点滅＋ドット点滅が表示されます。
SPIと専用ハーネスのの黄色線が正しく接続されていません。

Fの表示

スピード信号とエンジン回転信号の両方が取れていない場合、
F表示点滅＋ドット点滅が表示されます。
上記の「S」、「R」表示の問題点を確認してください。